



小池博之議員

清陵中の入学者 が少ないので

町内三小学校の学力のレベルアップにも取り組む

質問・・諏訪清陵高付属中に、町内から入学した生徒は1名。茅野市17人、諏訪市15人など市部に偏りがあるが、人口比率から4~5人は狙いたいとの声が聞かれる。今後の対応は。

教育長・・公立の中高貫校で学びたいという生徒がいる限り、その希望を叶えてやりたい。町内三小学校のレベルアップを図る。行政・教委・保護者など町ぐるみで子どもを育て、学力を向上させ将来の担い手を育てることが大切。

■「無料塾」の受講生減少について

質問・・三年目を迎える無料塾の通年講座が、50人を下回り激減している。開塾の在り方を含め対応策は。

教育長・・初年度は110人いた受講生が本年度は半減した。確かに学力を全ての子どもにつけるのが目的であるが、生徒が塾の成果を実感できなかつたのではと反省している。今年度は水曜2科目、3教科とするなど内容と指導方法を見直し、少人数グループの授業に切り替えた。

効果で考えるのはなじまない。この法案には危惧を感じている。

■人口の減少と地域集落の衰退について

質問・・町の人口が一万五千人を切った。町内の集落でも高齢化が進み、「限界集落化」が進んでいる。こうした自治組織を行政はどう支えるか。

町長・・町内には限界集落とされる集落は、今のところない。行政が乗り出す時期でないが、自助・公助・公助の中で、後方支援をしっかりとしたい。



佐久祐司議員

高騰する国保料に対する対策は

仲間づくり、生き甲斐を通して、病気による罹りづらい地域づくりを目指す

質問・・前期高齢者(65歳)の急激な医療費の伸びの原因是、**町長**・・団塊の世代が前期高齢者になることで、国保加入者の4割が前期高齢者となった。この4割の人々が、残り6割の人々の倍の医療費がかかっている。特に入院患者が増えていているのが医療費高騰の原因。

質問・・前期高齢者での急激な伸びは、他の地域ではみられない。富士見特有の原因があるので

質問・・寄付者に「お礼の品」を贈る自治体が増えている。町がお礼を贈らない理由は。

町長・・昨年度は2400万円の寄付金があり、今後は寄付者に対し、町の特産品などを、お礼の品として贈る。

はないか。

町長・・原因はわかつてないが、詳細がわかつても、どこの医療機関の方が安いなどの指導は出来ない。健康度を上げることが重要で、これ以上調査をする考ふではない。

券の配布の支援を行ったところ、クラブ加入者は

質問・・国保加入者は他の保険よりも低所得者が多く、公平性の原理ではなく、社会保障として考えるべきではないか。

質問・・国保加入者以外の人も納めている税金を、国保に使うことは公平ではない。子育て世代、若い世代の税金を使うではなく、病気気にかかりづらい地域づくりに力を入れる。

質問・・国保広域化についてどのように考えているか。

質問・・県で一本化の話が進み始めた。富士見の国保料は県平均よりも高くなつたため、現状では県で統一しても影響は少ないと思われる。

年6回の無料バスと入浴券の配布の支援を行ったところ、クラブ加入者は増加しており、効果は出始めている。また運動不足解消のため、健康補導員を地域に派遣し、健康体操を普及させね。